



# 山 鈴 尾

題字 元文部大臣 瀬戸山三男氏

発行／南九州大学同窓会 編集／同窓会企画広報部 印刷／小野高速印刷株式会社

〒885-0035 宮崎県都城市立野町 3764-1 南九州大学同窓会本部事務局

URL / <http://hibari.nankyudai.ac.jp/dosokai> e-mail / [dosokai@nankyudai.ac.jp](mailto:dosokai@nankyudai.ac.jp) TEL・FAX / 0986-46-1087

## ご挨拶

南九州大学同窓会会長 加藤 研悟



梅雨明けとともに日本列島は酷暑にさらされましたが、九月に入ると、朝夕の心地よい風に秋の気配を感じる季節となりました。同窓会会員の皆様並びに在学生の保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、日頃より同窓会活動にご協力をいただき感謝を申し上げます。

まず最初に、昨年度より準備にかかっていました同窓会会員名簿を計画通りに発行することができましたことをご報告申し上げます。会員の皆様のご協力があったからこそ予定通りに発行ができたことを衷心よりお礼を申し上げます。この名簿が会員の皆様の「心の糧」として恩師への感謝、先輩後輩の融和と親睦、同輩との友情を深め、さらに母校愛への高揚と同窓会の発展につながることを期待してやみません。

さて、南九州大学が創立されて四十六年目を迎え、会員と準会員である学生を合わせると一万人を超える大学となりました。この間に、高鍋キャンパスでの園芸学部だけの単科大学から、着実に発展を遂げて、現在は宮崎キャンパスと都城キャンパスに三学部四学科と大学院を擁する宮崎県を代表する私立大学へと成長してきました。

しかし、大学を取り巻く環境は日々厳しさを増すばかりであり、その原因の一つは少子化による十八歳人口の減少であり、平成四年に二〇五万人いた十八歳人口は、平成二十四年には一一九万人へと約40%減少しています。

原因の二つ目は大学設置基準の緩和による大学数の増加であり、平成四年には五二三校しかなかった大学が、平成二十四年には七八三校へと二・五倍も増えています。

南九州大学の今年度の入学者数は、募集人員三一〇名に対して、三一九人と入

しぶりに定員を上回りました。好結果の原因は、今年度の十八歳人口が前年度より約4万人増えていた影響があったのではないかと考えています。しかし、来年度は逆に、十八歳人口が5万人も減ると考えられています。南九州大学では時代の変化とともに、将来を見据えた改革が着実に実践されてきたと思えますが、なお一層の努力を是非ともお願いしたいと考えています。

今後は、大学が厳しい環境を生き抜くために、教育・研究事業の質を高めていくと同時に、大学発祥の地である、高鍋キャンパスの有効活用策を是非とも早急に立ててほしいと思っております。

大学を取り巻く状況を皆様方から知っていただき、そして、我々卒業生が大学や後輩たちのために何か支援できることはないかを考えてみました。

特色ある大学づくりに必要なことは、大学と卒業生とが常に連携していることが絶対に必要なことと考えています。南九州大学の学生の特徴は、全国津々浦々から入学していること、卒業生が全国各地で活躍していることです。

しかし、このすばらしい特徴をうまく生かしていかないのが現状です。それぞれの地域で卒業生同士が連携を図ることが、新たに加わる会員の歓迎に繋がります。

その為に、同窓会会員同士のネットワークづくりを構築しなければならぬと思います。ネットワークづくりで必要なのは、県単位というより市町村単位での構築、小回りの効く連絡網づくりこそが、一番無理のない方法だと考えます。市町村単位での活発な活動が、県やブロックの活動の強化に繋がるのではないのでしょうか。

新しくできた新会員名簿を十分に活用して頂き、南九州大学卒業生同士の融和と親睦の為にネットワークづくりをお願いしたい。そこで得られた沢山の情報を大学や後輩の支援のために生かしていくことが母校の発展に結びつく筈です。会員の皆様方のご理解を頂き、各市町村単位での話し合いの場を設けて頂きたいと思っております。

同窓会の発展のためになると考えますので、皆様方の一層のご協力を是非ともお願い申し上げます。

## ご挨拶

南九州大学長 長谷川 二郎



例年にならない猛暑と突如の豪雨に悩まされた今年の夏もやっと峠を越え、朝夕の心地よい風に秋の気配を感じる季節になりましたが、同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本学では、学生達は夏休みになり、キャンパスには静かな雰囲気を感じられますが、学生達の中には、集中講義や各種講習の受講などで頑張っている者、卒業生の研究活動やサークル活動に汗を流している者などもあり、我々教職員もそのような学生達が安心してキャンパスで活動を行えるように努めているところであります。

同窓生の皆さんには、そのような本学の運営について、日頃よりご理解をいただき、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

南九州大学は今年で設立から四十六年になり、今や、宮崎キャンパスと都城キャンパスに3学部4学科を擁する宮崎県を代表する私立大学に発展し、同窓生の数も1万人を越えるようになりました。

この機会に、同窓会からは同窓会名簿の改訂版が発行されましたが、それによって同窓生の皆さんの絆がさらに深くなつていくことを期待しております。また、そのような同窓会の活発な活動に、本学に対する熱い思いと将来への大きな期待が込められていることを感じ、本学を皆さんの期待にこたえていかなければと、思いを新たにしているところであります。

皆さんもご存知のように、現在、本学のような地方の私立大学を取り巻く社会情勢には、極めて厳しいものがあります。それは、少子化や地域間格差の拡大などを背景として、地域内の大学間の競争に加え、地方の大学と大都市部の大学との間の競争の激化となつても現れてきております。そのような状況に対応するために、本学はその存在意義をさらにアピールすることが出来る大学にするための改革をすすめております。

その一つは、地方の大学として地域との連携を強化し、地域の発展に貢献する大学として評価されるようにすることです。管理栄養学科と都城キャンパスに新設した人間発達学部はそのような役割を担っていく学部・学科と考えておりますが、両学科とも地道な地域貢献活動によって、本学の地域に貢献する大学としての評価を高めておられます。また、かつての食品工学科を改組して作られた食品開発科学科も地域の食品業界との連携を深め、地域の食品産業の発展を担っていく人材を養成する大学としての期待も高まっております。

本学の歴史とともに歩み、本学の中核をなす環境園芸学部は、全国の農学系の大学との厳しい競争に晒されており、そのような大学との差別化を明確に打ち出していくことが求められています。そのために、現在、環境園芸学部をこの学部のこれまでの実績と南九州の自然と風土を活かした、他の農学系の大学にはない特色ある教育・研究を実践する学部へと改編していくことに取り組んでいます。

現在の大学を取り巻く厳しい社会情勢の中で、本学をこれまで以上に評価される大学にしていくために努力していきたいと思っております。今後とも皆様のご理解とご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 平成25年度同窓会総会報告

6月29日(土)16:00よりアークホテル広島駅南において役員15名、代議員6名の出席で平成25年度の総会が開催されました。議長を加藤会長に選任し議案に則り議事進行されました。

最初に1号議案の平成24年度事業報告、同決算報告、監査報告がなされ承認されました。続いて2号議案の平成25年度事業計画の中で組織の強化で支部役職が支部長1、副支部長2、幹事長1、幹事4(会計1、就職1、新入生1、会員1)となりました。

広報活動では新聞「尾鈴山」の発行とホームページの充実をはかる事となりました。

26年度総会が宮崎・高鍋で決定されました。

大学、保護者会、在学生との交流推進し、在学生への支援活動が承認されました。

予算計画も一部修正され承認されました。3号議案の会則改正で役員の任期の項目が一部修正されました。その他の議題となり南九会(OB教員の全国組織340名)の報告がありました。

会員名簿の8月発刊の最終報告があり、来年度総会を平成26年7月5日(土)に20年ぶりに宮崎県高鍋町で開催する事が決まり本年度の総会は終了致しました。



総会の様子

## 合同同期会開催される

29日(土)アークホテル広島駅南にて5期生の還暦同期会及び卒業30年の54H L G A、卒業20年の64H O L G A I F、卒業10年の11H O L G A I Fの同期会が開催されました。

総会後の懇親会でもあり、長谷川理事長学長他学園大学関係者4名、同窓会役員代議員21名、事務局1名、広島県内外70名、合わせて96名の参加で盛大に催されました。理事長挨拶で大学の近況と高鍋キャンパスの動向が話されました。

東京・名古屋・滋賀に次ぐ久しぶりの地方開催総会・懇親会となり皆さん学生時代の顔となっていました。閉めは安田事務局長の音頭で盛会裏に終了致しました。2次会、3次会と広島の夜を堪能しました。



懇親会の様子



学長挨拶



集合写真

### 【平成26年度 同窓会総会のご案内】

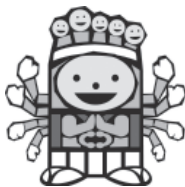
平成26年度の総会を宮崎県高鍋町で開催致します。

日 時：平成26年度7月5日(土)  
15:30より

場 所：ホテル四季亭

TEL: 0983-23-0043 FAX: 0983-22-3381  
〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋5224

その他：総会は役員、代議員で行われます。役員、代議員名簿は同窓会ホームページをご参照ください。尚、代議員は各県支部より選出されています。空席の支部もありますので、役員または事務局へ推薦してください。



たか鍋大使くん

### 還暦6期生合同懇親会のご案内

日 時：平成26年7月5日(土) 18:00~20:00

場 所：ホテル四季亭

参加者：①同窓会役員・代議員

②還暦6期生：194名 47H/L

③宮崎県内在住者

④一般OB参加者：上記以外の卒業生の皆様には案内は出しませんが、希望者は参加可能です。当日参加名簿を作成しますので、事務局まで早めに申し込みください。

詳細はホームページをご覧ください。



# 会 計 報 告

## 平成 24 年度収支決算報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日  
至 平成 25 年 3 月 31 日

## 平成 25 年度収支予算計画書

自 平成 25 年 4 月 1 日  
至 平成 26 年 3 月 31 日

◎一般会計

収入の部

科 目	予 算 額	決算額	差 異	摘 要
1. 会費収入	4,400,000	4,500,000	△ 100,000	
正会員	100,000	20,000	80,000	
準会員	300,000	200,000	100,000	
※新入生 (H24・25)	4,000,000	4,280,000	△ 280,000	
2. 広告代・寄付	100,000	0	100,000	
3. 事業収入	10,000	1,760	8,240	
名簿販売	10,000	1,760	8,240	送料のみ
4. 雑収入	500	1,420	△ 920	
預金利子	500	1,420	△ 920	宮崎銀行定期利子含む
返金	0	0	0	
5. 基金	0	0	0	
合 計	4,510,500	4,503,180	7,320	
前年度繰越金	2,850,596	2,850,596	0	
総 計	7,361,096	7,353,776	7,320	

※新入生の H24 は平成 24 年 4 月以降、H25 は平成 25 年 3 月までに入金されたもの H25 新入生 315 名

支出の部

科 目	予 算 額	決算額	差 異	摘 要
1. 管理費	3,320,000	2,734,605	585,395	
印刷費	500,000	144,900	355,100	同窓会通信「尾鈴山」
人件費	1,000,000	673,010	326,990	事務員・役員・アルバイト
会議費	250,000	295,228	△ 45,228	総会費・懇親会補助
交際費	50,000	136,000	△ 86,000	生花代・創立 50 周年酒樽代
需用費	1,520,000	1,485,467	34,533	
旅費交通費	700,000	814,840	△ 114,840	役員代議員交通費
備品費	100,000	100,000	0	デスクトップパソコン
消耗品費	70,000	123,579	△ 53,579	事務用品・トナー・HDD
通信費	600,000	418,978	181,022	ハガキ・切手・電話通話代
慶弔費	30,000	0	30,000	
手数料	20,000	28,070	△ 8,070	会費払込み手数料
2. 事業費	550,000	300,000	250,000	
卒業記念品	250,000	0	250,000	同窓会会員名簿贈呈に変更
大学祭等支援金	200,000	200,000	0	2 キャンパス× 10 万円
同期会補助金	100,000	100,000	0	総会と同時開催
3. ブロック組織支援金	800,000	100,000	700,000	東海ブロック
4. 寄贈費	200,000	0	200,000	
5. 基金	1,000,000	1,000,000	0	宮崎銀行定期
6. 返金	0	0	0	
7. 予備費	1,491,096	0	1,491,096	
合 計	7,361,096	4,134,605	3,226,491	

7,353,776 - 4,134,605 = 3,219,171 (次期繰越金)

現預金内訳

平成 25 年 3 月 31 日現在

	内 訳	金 額	備 考
郵便局	会費振込残高	3,111,150	
普通預金	都城一万城郵便局	34,923	
普通預金	宮崎銀行	4,667	
現金		68,431	
合 計		3,219,171	

◎一般会計

収入の部

科 目	予 算 額	前年度決算額	差 異	摘 要
1. 会費収入	4,400,000	4,500,000	△ 100,000	
正会員	100,000	20,000	80,000	
準会員	300,000	200,000	100,000	
※新入生 (H24・25)	4,000,000	4,280,000	△ 280,000	
2. 広告代・寄付	100,000	0	100,000	
3. 事業収入	10,000	1,760	8,240	
名簿販売	10,000	1,760	8,240	送料のみ
4. 雑収入	500	1,420	△ 920	
預金利子	500	1,420	△ 920	
返金	0	0	0	
5. 基金	0	0	0	
合 計	4,510,500	4,503,180	7,320	
前年度繰越金	3,219,171	2,850,596	368,575	
総 計	7,729,671	7,353,776	375,895	

支出の部

科 目	予 算 額	前年度決算額	差 異	摘 要
1. 管理費	3,320,000	2,734,605	585,395	
印刷費	500,000	144,900	355,100	同窓会通信「尾鈴山」
人件費	1,000,000	673,010	326,990	事務員・役員・アルバイト
会議費	250,000	295,228	△ 45,228	総会費・懇親会補助
交際費	50,000	136,000	△ 86,000	生花代
需用費	1,520,000	1,485,467	34,533	
旅費交通費	700,000	814,840	△ 114,840	役員代議員交通費
備品費	100,000	100,000	0	
消耗品費	70,000	123,579	△ 53,579	事務用品
通信費	600,000	418,978	181,022	ハガキ・切手・電話通話代
慶弔費	30,000	0	30,000	
手数料	20,000	28,070	△ 8,070	会費払込み手数料
2. 事業費	550,000	300,000	250,000	
卒業記念品	250,000	0	250,000	同窓会会員名簿
大学祭等支援金	200,000	200,000	0	2 キャンパス× 10 万円
同期会補助金	100,000	100,000	0	総会と同時開催
3. 支援金	800,000	100,000	700,000	
ブロック	400,000	100,000	300,000	
支部	200,000	0	200,000	
少人数	200,000	0	200,000	
4. 寄贈費	200,000	0	200,000	
5. 基金	1,000,000	1,000,000	0	
6. 返金	0	0	0	
7. 予備費	1,859,671	0	1,859,671	
合 計	7,729,671	4,134,605	3,595,066	

基金

	平成 23 年度残高	平成 24 年度残高	差 異
都城一万城郵便局	9,527,442	9,533,010	5,568
宮崎銀行	1,500,000	2,500,000	1,000,000
合 計	11,027,442	12,033,010	1,005,568

### きりしま祭のご案内

- 場 所：宮崎キャンパス
- 開催日：11月23日(土)・24日(日)



### ひばり祭のご案内

- 場 所：都城キャンパス
- 開催日：12月7日(土)・8日(日)



## 蚊口寮同窓会の開催

恒例の蚊口寮の同窓会が平成25年9月7日(土)シェラトン・グランデ・オーシャンリゾートで開催されました。台風や大雨の関係で急遽キャンセルが出ましたが、遠くは岐阜や大阪から15名が参加しました。

岡本先生や小西先生をはじめ1回生から3回生の同じ釜の飯を食った面々が集い、昔懐かしい話に華を咲かせました。次回は27年に大分県で開催します。蚊口寮以外の方の参加も歓迎します。



## 卒業生の皆様に朗報!!!

### 南九州学園入学金全額免除制度のご案内

次のいずれかに該当する者は、入学金の全額250,000円を免除します。該当者は手続時に申請してください。

- (1)本学または南九州短期大学のいずれかに入学したことがある者
- (2)本人の2親等以内の親族が、本学または南九州短期大学のいずれかに入学したことがある者
- (3)入学予定年度に複数の兄弟姉妹が同時に本学または南九州短期大学のいずれかに入学するときは、これらの者のうち後順位の者

## ホームページの活用について

昨年末より、同窓会のホームページが更新されました。

同窓会活動の状況や事務局の情報、卒業生の活躍など、タイムリーな更新に努めてまいりますので閲覧いただき、ご意見をお聞かせください。

同窓会HPに同窓生の活動がリンクできるように整備中です。環境造園分野では衰弱樹木の樹勢回復、環境園芸分野では特殊肥料による作物の品質、収量アップなど、長年の研究成果が記載されています。



## 編集後記

高鍋町も少子高齢化、人口減少で商店街もシャッター商店街となっていますが、皆さんが学生時代にお世話になった宮崎銀行高鍋支店も昨年、改装されました。高鍋に来られる機会がありましたら是非寄ってみてください。

本年度は広島市での総会、会員名簿作成と事務局としてはあわただしい年となりました。

本来ならこの同窓会通信ももう少しページ数を増やす予定でしたが、予算の関係や名簿作成、ホームページ更新と重なり見開き4ページの縮小版となりました。

ホームページ同様ご意見や要望をお聞かせください。

